

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和2年度末）

<進捗の目安>

- ◎ 順調 : 目標値以上
- 概ね順調 : 基準値以上
- × 努力が必要 : 基準値以下
- 実績なし

基本目標 1

いきいきと輝き続ける“ひと”

若い世代の結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえ、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子どもから高齢者まで、誰もが生きがいを持ち地域で活躍する郷土愛にあふれたひとづくりを進めます。

■ 数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
年間出生数	実績値	20	22				25	住民基本台帳（1～12月）
	達成状況		○					

■ 数値目標の分析

【出生数】

- ・直近10年間の平均出生数は、27.1人/年（昨年：28.3人/年）
- ・5年間に区切って見ると、前半（H23～27）の年平均は32.0人、後半（H28～R2）の年平均は22.2人となっており、比較すると10人程度減少している。

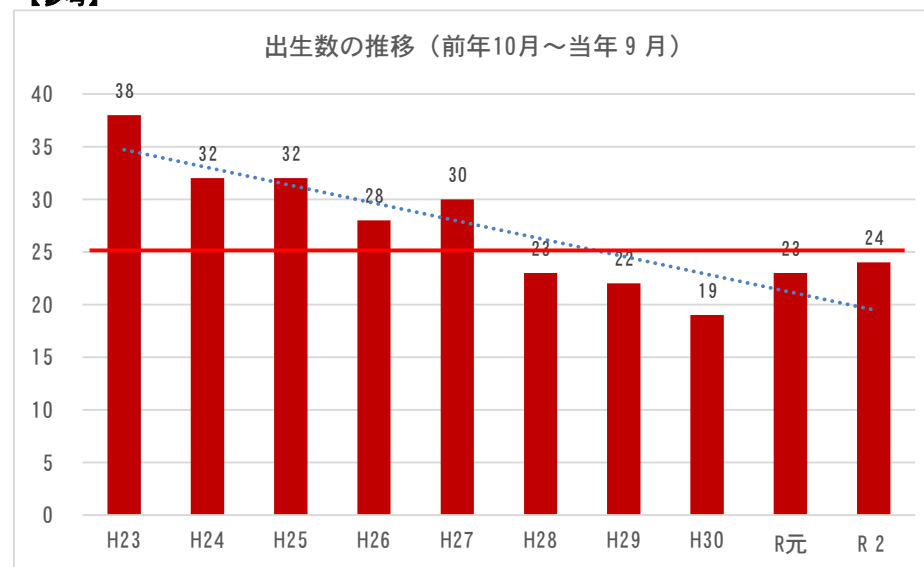
【婚姻数】

- ・直近10年間の平均婚姻数は13.8件/年（昨年：14.5件/年）
- ・5年間に区切って見ると、前半（H23～27）の年平均は16.6件、後半（H28～R2）の年平均は11.0件/年であり、比較すると5件程度減少しており、婚姻数は減少傾向にある。

【18～40歳人口の状況】

- ・平成23年時点では男性704人、女性544人であったものが、令和2年時点で男性が454人（△250人）、女性が364人（△180人）となっており、10年前の65.5%程度まで減少している状況。
- ・女性人口に対しての出生数の割合を見ると、10年間平均では6.01%となっており、5年間に区切って見ると、前半（H23～27）の年平均が6.4%、後半（H28～R2）の年平均は5.6%となっており、0.8%程度減少している。

【参考】



戦略 1	光り輝く“ひと”づくりプロジェクト
-------------	--------------------------

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
子育てしやすい環境の整備	合計特殊出生率	実績値	1.64	1.66					2.20	岩手県環境保健研究センターより
		達成状況	/	○					/	

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
子育て環境充実事業 <small>【健康福祉課】 【住民会計課】 【こども教育課】</small>	拡充	【事業内容】 ・保育料や医療費、給食費の子育て世帯に対する経済的支援と子育て・保育サポート体制の充実 他 【事業実績】 ・子ども医療費助成：4,534件（9,858,939円） ・町産米地産地消推奨事業：292人（1,449,861円） ・保育料：世帯内第2子以降無償	<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度に加え、町独自の施策により、子育て世帯の経済的負担が図られている。 ・令和3年度からは、出産祝金の支給や小中学生への学用品等に対する支援を実施することとしている。
くずまき出会いサポート事業 <small>【いらっしゅい葛巻推進課】</small>	継続	【事業内容】 ・独身男女の出会いづくりのサポート及び各種交流事業の開催 【事業実績】 ・くずまき出会いサポート協議会会議6回 ・ミニ交流会3回（参加者6人） ・仲人実績1組	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流イベントについては内容を縮小して実施し、仲人活動を中心に活動した。
マタニティライフサポート事業 <small>【健康福祉課】</small>	継続	【事業内容】 ・出産前に必要な用品購入や妊婦健診時の移動・宿泊に係る費用を助成 【事業実績】 ・18人（900,000円）	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦へ一律5万円を支給しているが、出生数は減少傾向にある。 ・令和3年度から「出産祝金」制度を創設し、出産に係る更なる支援を行うこととしている。 ・庁舎内の関係課や関係機関等の連携し、所得の向上や就労環境の充実と多様化への対応など、子育て環境の更なる充実を図る必要がある。
不妊治療費助成事業 <small>【健康福祉課】</small>	継続	【事業内容】 ・不妊治療に要する費用の一部を助成 【事業実績】 ・特定不妊治療：3人（450,000円） ・一般不妊治療：1人（8,200円）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の利用者数に関しては経年で大きな増減はないが、県の助成制度と併せて更なる周知を行うい、受診に対するハードルを低くする取組みが必要である。
保育施設再整備事業 <small>【こども教育課】</small>	新規	【事業内容】 ・保護者のニーズや「保・小接続プログラム」を推進するために、小学校に隣接した保育施設の再整備 【事業実績】 ・実績なし	<ul style="list-style-type: none"> ・町立保育所の園舎は老朽化が著しいことから、優先順位を定めるとともに、小学校に隣接した施設の整備を検討する必要がある。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
次代を担う人材教育	葛巻高校入学者数	実績値	46人	49人					42人	こども教育課調べ
		達成状況		◎						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
コミュニティ・スクール設置事業 【こども教育課】	新規	【事業内容】 ・全小中学校において、コミュニティ・スクールを設置 【事業実績】 ・ふるさとキャンパス全体構想策定（令和4年度設置予定） ・設置数0校	・「ふるさとキャンパス構想」に基づき、キャンパスごとに、年間計画をしっかりと位置づけた上で、授業交流研修会や集合学習、交流学習等を実施した。 ・令和4年度から学校運営協議会制度を導入するため、ふるさとキャンパス全体構想を策定し、推進委員会を立ち上げる準備を行った。
就学前教育充実事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・幼児期における発達段階に応じた学習や体験活動を充実し小学校入学後の義務教育へのスムーズな移行 【事業実績】 ・バイオリン学習の実施（全49回） ・幼児教育アドバイザー：1名	・年中・年長児を対象にバイオリン学習を実施することにより、情操教育の充実が図られているとともに、各種発表会等への参加により、貴重な体験を積むことができている。 ・幼児教育アドバイザーによる巡回指導等を実施し、幼児教育の視点を取り入れた保育士の資質向上に努めた。
保育園・小学校・中学校・高等学校教育連携事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・各種学校間の教育連携の継続・強化による基礎学力向上と一貫した児童生徒指導の実践 【事業実績】 ・各支援員を配置した。 ・学校教育アドバイザー（1名）・学力向上支援員（3名） ・外国語教育支援員（1名）・特別支援教育支援員（5名） ・心の教室相談員（3名）・部活動支援員（2名）	・中高一貫教育として、英語・数学を中心とした授業交流や部活動交流、進路指導、生徒指導等により、中高6年間を通じた系統的、継続的な指導を実施した。 ・保小連携研修会を開催し、保育園・児童館と小学校の効果的な接続の実現に向けて、小学校生活につながる情報交換や情報共有をし、児童の側に立った保・小の接続・連携の在り方について知見を深めた。
くずまき山村留学制度推進事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・山村留学生の受入れや寄宿舎運営体制の充実 ・山村留学生確保に向けた情報発信と全国ネットワーク「地域みらい留学推進協議会」への参画 【事業実績】 ・山村留学生：29人（1年：16人、2年：10人、3年：3人）	・山村留学生の人数が2年続けて10人以上となり、寄宿舎整備及び地域みらい留学推進協議会への参画等、これまでの取組みの成果が表れている。 ・山村留学生の人数が増えることで、関係者による山村留学生への生活指導や相談業務等が重要となる。
葛巻町学習塾運営事業 【こども教育課】	継続	【事業内容】 ・個々の学習ニーズに合わせたフォロー ・Birth47に管理運営業務を委託 【事業実績】 ・受講生：90人（利用率：68.7%）	・令和3年度の国公立4年制大学への進学者が14人となるなど、塾による学習支援の成果が表れている。 ・今後は、葛巻高校から難関大学への進学が期待される。
奨学金支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・看護職員等養成修学資金貸付制度の活用促進 ・UIターン者に対する奨学金返済支援を検討 【事業実績】 ・看護師：2名（1,680,000円） ・薬剤師：1名（1,120,000円）	・制度創設から順調に利用者があり、町内の医療従事者確保のためにも継続実施すべきである。 ・ただし、償還免除は卒業から2年以内に町内の事業所に勤務する必要があるため、町外で経験を積んでから町内に就業する選択肢があっても良いと思われる。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
高齢者の生きがいづくりと地域福祉の推進	要介護認定率	実績値	22.7%	23.6%					22.0%	健康福祉課調べ
		達成状況		×						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
高齢者福祉施設整備事業 【健康福祉課】	新規	【事業内容】 ・高齢者相互の交流機会の創出及び生きがい活動を推進するための拠点整備 【事業実績】 ・高齢者福祉施設概略設計業務委託：495,000円	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度については、施設整備に向けた概略設計業務を実施。 令和3年度については、用地取得、実施設計及び施設本体工事の施工を予定しており、令和4年8月の完了を目標としているもの。
ボランティア活動推進事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・ボランティア募集や交流会、養成講座等の開催 【事業実績】 ・ボランティア登録者数：247人 ・各種事業へのボランティア参加（配食サービス事業：延べ260人、高齢者まごころ弁当宅配事業：延べ371人など）	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア登録者数については、247人と前年より8人増加している。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティア募集等の啓発活動や養成講座を中止としている。 福祉関連事業の実施については、地域住民の共助体制が不可欠であるため、更なる普及推進に努めていきたい。
地域包括ケアシステム構築事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・高齢者が住み慣れた地域や自宅で快適な生活を送るためのケア体制の充実 【事業実績】 ・要支援認定者数：155人 ・要介護認定者数：501人 （介護予防教室・シルリハ体操の日：38回開催） ・認知症サポーター養成講座修了者数：1,512人 （認知症カフェ：1回開催、認知症サポーター養成講座：中止） ・認知症スクリーニング事業実施件数：270件	<ul style="list-style-type: none"> 要支援・要介護認定者数については合計で656人と前年より25人増加している。認定者は増加傾向であるが、サービス利用するために必要な手続きであることも増加の一因であると推測される。 令和3年度については、認定者の重度化を予防するため、介護予防事業の更なる推進に努めるほか、認知症スクリーニング事業による早期発見・予防に努めていきたい。
シルバー人材センター等総合支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・生きがい就労活動や相互支援活動 【事業実績】 ・シルバー人材センター会員数：28人 ・シルバー人材センター受託件数：106件 （草刈り、庭木の手入れ、除雪作業など）	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度については、会員数が28人と前年より3人減少しているものの、受託件数については、106件と前年より29件増加となっており、くずまきテレビでの放映等により、シルバー人材センター事業の浸透度が深まりつつある。 今後も高齢者の就労活動の機会向上と住民にとって気軽にサービス利用できるような仕組みづくりに努めていきたい。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
文化・スポーツ活動の 機会づくり	生涯学習講座等参加割合 (対人口比)	実績値	29.6%	20.7%				35.0%	まなび交流課調べ	
		達成状況		×						
	スポーツ教室参加者割合 (対人口比)	実績値	37.1%	27.2%				40.0%	まなび交流課調べ	
		達成状況		×						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
生涯学習施設環境充実事業 【まなび交流課】	新規	【事業内容】 ・新庁舎建設を機会に生涯学習施設の整備充実と教室や講座メニュー、人材育成等のソフト面の充実 【事業実績】 ・「町民まなびい学園」38講座 291回 延べ2,583人	・多種多様な講座・教室を実施し、対象者が自ら学ぶ場を設けた。 ・コロナ禍で講座の開催が困難であったが、在宅で出来る講座をくずまきTVを活用して企画するなど工夫して学ぶ場を設けた。
文化活動支援事業 【まなび交流課】	新規	【事業内容】 ・町民の自主的な文化活動の支援と文化交流の促進による交流人口の拡大 【事業実績】 ・生涯学習フェスティバル文化展の開催：参加17団体、出品434点 ・文化活動支援事業補助金：利用団体1団体、40,000円	・町民が心豊かで充実した人生を送るため、町文化協会を中心とした文化芸術団体、サークルを支援し、主体的な文化活動を奨励した。 ・新たに創設した文化活動事業補助金についてさらに周知し、利用促進を図る必要がある。
スポーツツーリズム奨励事業 【まなび交流課】	継続	【事業内容】 ・町のスポーツ施設を利用した大会の主催者や合宿利用者への支援 【事業実績】 ・スポーツ合宿等宿泊費補助金：6団体（延べ338人）、1,185,754円 ・スポーツ大会等誘致運営費補助金：0団体、0円	・コロナ禍でスポーツ大会や合宿の誘致が困難であった。 ・新たな大学等の合宿誘致につながるよう合宿誘致相談会等で営業活動を積極的に実施する必要がある。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値				目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5	
未来を協創するまちづくりの推進	地域づくりリーダー研修会実施	実績値	—	0回/年				1回/年	
		達成状況		×					

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
まちづくり検討会実施事業 【政策秘書課】	新規	【事業内容】 ・まちづくりに関する住民参画機会の創出とまちづくり人材の育成 【事業実績】 ・実績なし	・町民のまちづくりに関する意見交換等の機会を設け、住民参画を促すとともに、将来のまちづくりを担う人材育成に結びつく取組みを行なう必要がある。
協創（協働）のまちづくり事業 【総務課】	拡充	【事業内容】 ・協創の姿勢により、将来のまちづくりにつながる取組への支援 【事業実績】 ・協創のまちづくり補助金：実施事業数4事業（401,000円） ・自治会活動交付金：34自治会（18,858,300円） ・コミュニティ助成事業：1自治会（2,500,000円）	・自治会活動交付金及びコミュニティ助成事業については例年と同水準となった。 ・一方で新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、自治会で行う事業が軒並み中止となったことから、協創のまちづくり補助金の実績は低水準となった。

■ 効果検証の結果

有識者会議及び議会の結果

【子育てしやすい環境の整備】

- ・ 子育て環境や経済的な支援が充実し、女性が働きやすい環境が整備された。
- ・ 子育てに対する経済的支援がいつまで続くのか不安がある。
- ・ 現実的には月々の収入となる“仕事”が充実していることが重要である。
- ・ 子育てをしていくためには、一定のコミュニティが必要であり、“精神的安定”と“経済的安定”が求められる。

【次代を担う人材教育】

- ・ 葛巻高校への入学者数が増加傾向にあるのは、山村留学制度等の町の取組みの成果であり、山村留学制度の更なる充実を期待する。
- ・ 山村留学生在が卒業した後、町との関わりが継続されることが重要である。

【高齢者の生きがいづくりと地域福祉の推進】

【文化・スポーツ活動の機会づくり】

- ・ 高齢者の交流等は施設に頼らず、地域や少人数グループなどに訪問し、お茶のみしながら軽運動や学習講座を実施するのが良いのではないか。
- ・ 文化・スポーツ活動の機会づくりについては、参加者にポイントカードを導入して、参加率の向上を図ると良いのではないか。
- ・ コロナ禍で、他者とのコミュニケーションが取れない中、スポーツ関連の実施は限界がある。
自宅でも可能な運動や自宅で学べる講座をより充実させるべきではないか。

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和2年度末）

＜進捗の目安＞	
◎ 順調	: 目標値以上
○ 概ね順調	: 基準値以上
× 努力が必要	: 基準値以下
-	実績なし

基本目標 2 誰もが住みたくなる“まち”

町が持つ自然、空間を大切にしながら、情報通信技術の活用や道路交通網の整備等により生活環境の快適性を高め、町での暮らしを求める人の流れを作り出すとともに、若者を始め誰もが心安らぐ快適な生活を送ることができる環境づくりを進めます。

■ 数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
人口の社会動態	実績値	△54人	△44人				△35人	住民基本台帳（1～12月） ※実績値（R2）：転入者102人、転出者146人、社会増減△44人
	達成状況		○					

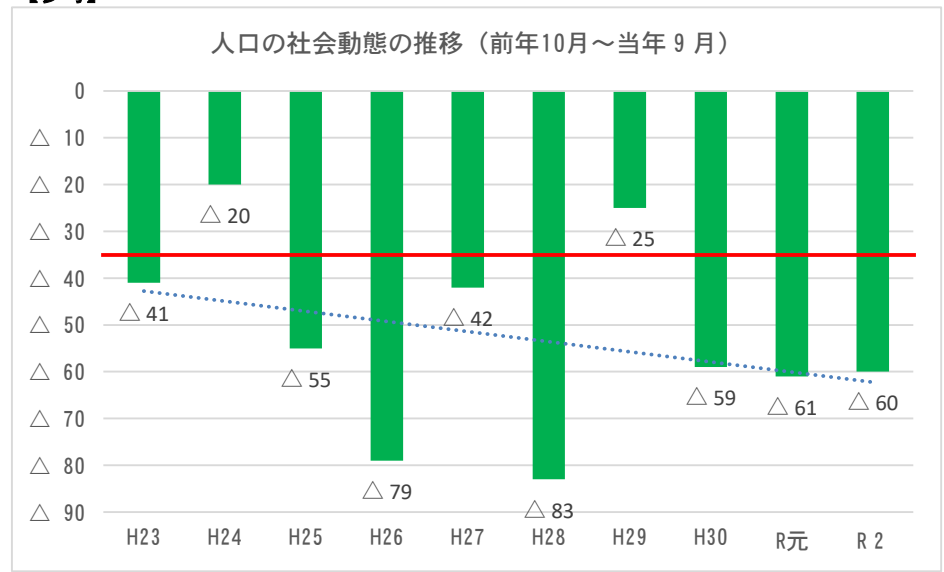
■ 数値目標の分析

【転入の状況】
 ・直近10年間の平均転入者数は133.0人/年（昨年：137.3人/年）
 ・5年間に区切って見ると、前半（H23～27）の年平均は147.6人、後半（H28～R2）の年平均は118.4人となっており、比較すると29人程度減少している。

【転出の状況】
 ・直近10年間の平均転出者数は185.5人/年（昨年：190.6人/年）
 ・5年間に区切って見ると、前半（H23～27）の年平均は195.0人、後半（H28～R2）の年平均は176.0人となっており、比較すると19人程度減少している。

【社会増減】
 ・直近10年間の平均社会増減数は△52.5人/年の社会減（昨年：△53.3人）
 ・5年間に区切って見ると、前半（H23～27）の年平均△47.4人、後半（H28～R2）の年平均は△57.6人となっており、比較すると社会減が10.2人減少している。
 ・増減率は、平成29年に△0.39%となったが、平成30年以降は△1.0%程度の増減率となっている。

【参考】



戦略 2	魅力あふれる“まち”づくりプロジェクト
-------------	----------------------------

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
若者世代が暮らしたくなる 住宅環境の整備	若者定着率	実績値	32.5%	55.0%					40.0%	5年前の15～19歳人口に対する20～24歳人口の比率（10/1現在） ※実績値（R2） H27年の15～19歳：169人 R2年の20～24歳：93人
		達成状況		◎						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
定住促進住宅整備事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・定住促進住宅及び子育て世代定住促進住宅の整備 【事業実績】 ・令和2年度は新規住宅の整備は無し。	・整備済みの全30世帯分の定住促進住宅等の運用状況を鑑みて、今後の新規住宅の整備計画を検討する。 【入居状況（R2末）】 28世帯/30世帯
民間賃貸住宅等確保促進事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・町内の事業者等と連携した民間の賃貸住宅等の確保事業 【事業実績】 ・民間の賃貸住宅の入居状況や、新規整備状況について情報収集に努めた。	・引き続き、若年層を中心とした世代の住宅確保支援のため、民間の賃貸住宅の整備状況に関する情報収集に努める。
空き家活用促進事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・空き家バンク登録事業、空き家リフォーム事業、土地情報提供事業 【事業実績】 ・空き家バンク新規登録：5件 ・空き家活用奨励事業：1件	・空き家の利活用をより一層促進するためには、空き家活用奨励事業を再点検し、空き家所有者の残置物撤去等に係る負担軽減を図る必要がある。 【空き家バンク登録件数（R2末）】 7件
水洗化普及支援事業 【建設水道課】	継続	【事業内容】 ・水洗化工事に係る経費の一部助成 【事業実績】 ・19件（7,560,000円）	・水洗化率は年々増加しているものの、県平均を下回っている状況である。 ・高齢者世帯の増加により、住宅の建替えや改築を先送りする傾向があり、水洗化の普及が進みにくい状況である。
住宅取得支援事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・子育て世代移住者への住宅取得支援、町民の定住対策としての住宅取得支援 【事業実績】 ・新規住宅1件、中古住宅2件	・住宅取得支援事業は、定住奨励事業や新婚ライフサポート事業、若者定住家賃助成事業等と合わせて、若い世代の定住支援に一定の効果を出している。

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
住宅リフォーム支援事業 <small>【いらっしゃい葛巻推進課】</small>	拡充	【事業内容】 ・快適な住環境づくりに向けたリフォーム支援、断熱改修に対する支援拡充を検討 【事業実績】 ・助成件数：27件、助成総額：3,719,000円	・町民の快適な住環境づくりを促進する「快適な住まいづくり応援事業」は制度創設から8年が経過し、事業内容の見直しを図っていかねばならない時期を迎えている。
くずまき型エコハウス推進事業 <small>【いらっしゃい葛巻推進課】</small>	新規	【事業内容】 ・葛巻の寒さに対応するエコで暖かい住まいづくりの推進 【事業実績】 ・業者向け講習会1回、公共施設整備関係者意見交換会1回	・現行の住宅リフォーム関係助成事業とエコ・エネ総合対策事業の内容を検証し、一般住宅の断熱化を促進するための助成事業やエコハウス認証制度について検討を進める。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
交通ネットワークの充実	道路改良率	実績値	71.5%	72.2%					73.0%	建設水道課調べ
		達成状況		○						
	路線バス1便当たり利用者数	実績値	5.31人	4.86人					5.31人	政策秘書課調べ
		達成状況		×						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
生活関連道路網整備充実事業 【建設水道課】	継続	【事業内容】 ・生活関連道路の拡幅改良等 【事業実績】 ・町道茶屋場田子線 ・町道葛巻浦子内線 ・町道愛羅瀬線 ・町道追鍋線	・道路は日常を支えるうえで重要な社会資本であることから、引き続き、拡幅改良等により、利便性、安全性、快適性の向上を図る必要がある。
地域高規格道路整備促進事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・北岩手北三陸横断道路の整備促進活動 【事業実績】 ・総会・決起大会（R2.10.17） ・要望活動：岩手河川国道事務所、東北地方整備局（R3.1.21）	・「北岩手・北三陸横断道路」は、令和3年6月に策定された岩手県道路交通ビジョン、岩手県新広域道路交通計画において、高規格道路としての役割が期待されるものの、個別路線の調査に着手していない構想路線として「(仮称)久慈内陸道路」の名称で位置づけられた。 ・引き続き、高規格道路として、早期に調査及び着工・整備されるよう要望していく必要がある。
路線バス維持対策事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・100円バス化による利用促進、広域路線の維持対策 【事業実績】 ①100円バス：JRバス 34,202人（前年比 △3,461人） 県北バス 2,368人（前年比 △452人） ②増便：JRバス 葛巻線：2本/日 大平橋線：2本/日 県北バス 1本/日（昼便を委託運行）	・100円バスやバス事業者への補助等により、路線バスの維持と利用者の利便性の確保及び負担軽減が図られている。 ・また、県北バス「葛巻線」については、県単補助要件である平均乗車密度4.0に満たない状況が続いており、令和2年度においては、昼便を委託運行にするなど、広域路線の維持対策について努めたところである。 ・今後も引き続き、路線バス維持に向けた対策を検討する必要がある。
地域公共交通再編事業 【政策秘書課】	新規	【事業内容】 ・地域公共交通ネットワークの再構築（路線バス、通院バス、スクールバス等） 【事業実績】 ・事業者等（役場、タクシー）へのヒアリング調査 ・公共交通再編検討会議（4回）	・多様な形態で運行している葛巻町の公共交通の現状に基づき、より低コストかつ高効率な新たな公共交通体系を構築するため、公共交通再編検討会議及び事業者等のヒアリング調査を実施した。 ・引き続き、通院バスのデマンド化やコミュニティバス化など、町全体の公共交通体系の見直しについて検討する必要がある。
高齢者等外出支援事業 【健康福祉課】	継続	【事業内容】 ・75歳以上の高齢者及び重度の障がい者等に対するタクシー利用助成 【事業実績】 ・申請人数：320人、助成金額：2,016,530円	・町内でタクシーを利用した時に、タクシー料金の一部を助成することにより、在宅の高齢者や重度の障がい者の外出時の移動を支援することができた。

重点施策	区分	令和 2 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
<p>先端技術活用促進事業 【政策秘書課】</p>	<p>検討</p>	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> IoTやAI、ビッグデータ、5G等の先端技術の活用を推進 <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県主催による「5G等の活用による地域課題解決モデル構築推進事業」の実施 <ul style="list-style-type: none"> 対象者：葛巻高校生 内 容：アイデアソン、予備的実証実験（遠隔授業等） 	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県において、総務省ローカル5G開発実証に「ローカル5Gの活用による中山間地域の教育環境の充実と地域間交流の拡大」として、葛巻高校をフィールドに事業提案中。今後の動向を踏まえ、事業への協力をしていく。 また、IoTやAI、ビッグデータ、5G等の先端技術の活用を推進するとともに、行政手続きのオンライン化を推進していく必要がある。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
安全・安心を守るまちづくり	自主防災隊防災訓練等 実施回数	実績値	8回	0回					17回	総務課調べ
		達成状況		×						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
消防団員確保対策事業 【総務課】	継続	【事業内容】 ・消防団員勧誘活動の推進 【事業実績】 ・消防団員数 令和元年度末：289人 →令和2年度末：282人 (退団団員14名、新入団員7名 差引 7名減)	・消防団員の確保に向け、団員募集広報等に取り組んだほか、消防団組織の防災力強化に向けた装備品の充実などに取り組んでいるものの、若者世代の人口減少などにより、消防団員の減少が続いている。 ・消防団員の処遇改善、消防団活動の在り方の再検討、幅広い住民の入団促進などにより、消防団員の確保と地域防災力の充実・強化を図る必要がある。
自主防災組織等体制強化事業 【総務課】	継続	【事業内容】 ・防災訓練等の実施、備蓄品等の充実確保 ・「地区防災計画」、「避難所運営マニュアル」等の策定 【事業実績】 ・「避難所運営マニュアル」を策定し、各自主防災隊に配布した	・新型コロナウイルス感染症対策として、各地区での集会等の活動自粛により、防災訓練・研修等の実施回数は低迷した。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しつつ、基本的な感染対策を講じての防災訓練・研修等の開催を模索していく必要がある。

■ 効果検証の結果

有識者会議及び議会の結果

【若者世代が暮らしたくなる住宅環境の整備】

- ・ 若者定着率が目標値を大きく超えているが、コロナ禍において、転出を抑制するため、“雇用の確保”と“住環境の整備”が重要である。
- ・ 山村留学生が増えてきているので、山村留学生が卒業後も葛巻に残ってくれる仕組みを考えるべきではないか。
※ 酪農体験など地元の仕事に触れることにより、町内の仕事を知ることとなると思う。
- ・ 住宅環境の整備のため、住宅リフォームや空き家の利活用も大切であるが、利便性の良い町の中心部における住宅用地の確保も必要ではないか。
放置された空き家を増やさないう、更地にするような町の施策が必要ではないか。
※ 住宅の取り壊しによる土地の固定資産税の減免期間を与える等
- ・ 寒さ厳しい町であるため、暖かく暮らすことの住環境サポートが必要ではないか。
- ・ 以前、移住・交流部会（DMO）において、転出者に対するアンケートを実施したと思うが、このアンケート結果を今後活かすことができれば、転出者を抑制することができるのではないか。

【交通ネットワークの充実】

- ・ 雇用の確保のためにも、北岩手・北三陸横断道路の早期着工が望まれる。
- ・ 路線バスについて、運行時間、便数等の見直しが必要ではないか。

【安全・安心を守るまちづくり】

- ・ 消防団員が少なく、各自治会（町内会）の自主防災隊の役割が大きくなるため、ヘルメット・半纏などの資機材を支給したり、消防演習に招待してはどうか。

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和2年度末）

＜進捗の目安＞	
◎ 順調	: 目標値以上
○ 概ね順調	: 基準値以上
× 努力が必要	: 基準値以下
-	実績なし

基本目標 3 地域資源を活かす“しごと”

基幹産業の新たな展開や商工業の経営革新により、町民所得の向上と若者が魅力を感じる雇用の創出を図るとともに、町が持つ魅力をより一層輝かせることで、交流人口の拡大はもとより、移住・定住人口の増加を図ります。

■ 数値目標の進捗状況

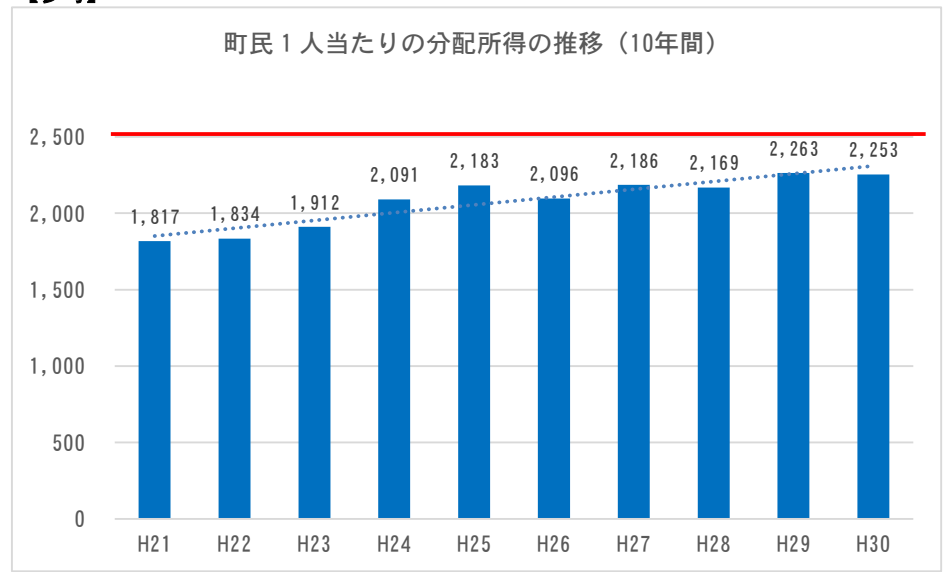
数値目標	項目	基準値	実績値				目標値	備考
		H30	R2	R3	R4	R5	R5	
町民1人当たりの分配所得	実績値	2,208千円	2,253千円				2,502千円	岩手県市町村民経済計算
	達成状況		○					

■ 数値目標の分析

【市町村民所得の状況】

- ・町民一人あたりの分配所得について、前年対比で0.4%減少。
- ・10年前（平成21年度）の1,817千円から、平成30年度は2,253千円と436千円増加している。
- ・県内における順位を見ると、平成26年度以降33番目（県内ワースト）となっている。
※平成21年度から平成25年度については、葛巻町以降は沿岸被災地であったもの。
- ・県平均との比較は、平成27年度以降、県平均との差は徐々に縮まっていたが、平成30年度で△589千円（79.3%）となり、県平均との差が広まった。

【参考】



戦略3

元気に満ちた“しごと”づくりプロジェクト

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値		実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5			
基幹産業の新たな展開と発展	生乳（生産量）	実績値	32,950t	32,611t						47,600t	農林環境エネルギー課調べ
		達成状況		×							
	再造林率	実績値	43.8%	46.6%						50.7%	農林環境エネルギー課調べ
		達成状況		○							

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
農業担い手研修助成 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・農業後継者が研修に要する費用への助成 【事業実績】 ・実績：0件	・昨年度は新型コロナウイルス感染症による移動自粛等の影響もあったと思われるが、ここ数年実績が無いため、事業内容や周知方法の見直しを図る必要がある。
農業経営持続化支援対策事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・高齢農家や小規模農家等の農業経営を、維持、継続できる体制整備に必要な経費等に対する助成 【事業実績】 ・新型コロナウイルスの影響を受けている和牛農家に対し、和牛子牛の販売価格が前年度より減少した農業者へ助成。 ・助成件数：35件 助成総額：4,130,000円	・農家の後継者不足や新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢農家や小規模農家等の農業経営が落ち込まないように、維持、継続できる体制整備に向けた具体的な検討が急務である
草地畜産基盤整備事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・草地、飼料畑の造成整備や牛舎等の施設整備、機械導入に対する助成 【事業実績】 ・生産性の高い酪農経営の実現を目的とした、牧草地の造成、生産施設整備の支援。 【R2】 助成件数：2件 助成総額：77,089,000円 【R2繰越】助成件数：2件 助成総額：220,131,000円	・国の畜産公共事業による畜産経営基盤の強化対策として十分な活用が見込まれる。事業実施主体である岩手県農業公社と連携を図り、生産者の要望を取り入れながら事業を推進する。
畜産労働力負担軽減対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・畜産農家の労働力の負担軽減を図るため、除糞装置等の導入に対する助成 【事業実績】 ・助成件数：3件 助成総額 2,955,000円	・畜産農家の収益性の向上や省力化に向けて、個々の現況から事業内容にマッチするような方々に積極的な声掛けを行っていく必要がある。

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
畜産・酪農収益力強化整備等 特別対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 中心的経営体が整備する、牛舎等の施設及び機械導入に対する助成（畜産クラスター事業） 【事業実績】 ・ 畜産経営の効率化や、粗飼料自給率の向上等に必要な機械整備の支援。 ・ 助成件数：2件 助成総額：13,243,000円	・ 当町の基幹産業である酪農の後継者育成が順調に図られるよう、県や町の補助事業等を活用しながら、関係機関と連携し積極的に支援を進めていく。
いわて地域農業マスタープラン 実践支援事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 農畜産物生産管理機械等の導入に対する助成 【事業実績】 ・ 畜産経営の効率化や、粗飼料自給率の向上等に必要な機械整備の支援。 ・ 助成件数：2件 助成総額：13,243,000円	・ 事業要望者が多く、順番待ちの状態が続いていることから、県の予算の都合上、計画どおりの採択に至らない事案がある。
基幹産業担い手確保支援事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・ 酪農・畜産インターンシップなどを通じた担い手の確保 【事業実績】 ・ 「葛巻町牛とミルクのお仕事見学会」を2回開催。 ①県立盛岡農業高等学校（40名） ②県立農業大学校畜産学科（21名）	・ 酪農や畜産を専門的に学ぶ県内の若者へ、広く町の仕事や暮らしの情報提供を行うことができた。 ・ 今後は、事業を継続するとともに、酪農や畜産及び関連する産業の担い手の確保と若者の定住につながる取組の検討が必要である。
草地更新支援事業 【農林環境エネルギー課】	新規	【事業内容】 ・ 良質の牧草生産による高品質な生乳生産を推進するため、草地更新に要する経費に対する一部助成 【事業実績】 ・ 助成件数：8件 助成総額：884,170円	・ 草地や粗飼料畑については、定期的な更新作業が必要となることから、各地区の状況等を確認しながら、畜産農家への声掛けをするなど、事業を推進していく。
森林保全特別対策事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 再造林、除間伐、作業路整備、間伐材搬出に要する経費の一部を助成 【事業実績】 ・ 再造林38.11ha ・ 間伐材搬出914.432m ³	・ 森林整備事業（国庫補助）に町が嵩上げ補助することで、民有林の整備が推進されている。 ・ 森林経営計画の作成促進及び計画に基づく森林整備が行われるよう引き続き指導に努める。
町産材利用促進事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 町民が町産材を使用して建物を新築または増改築する場合に、建築費の一部を助成 【事業実績】 ・ 助成件数3件（使用材積：133.0781m ³ ）	・ 申請件数が伸び悩んでいるため、ホームページや広報、くずまきテレビ等を活用し、町民への事業周知を図るとともに、建築業者への制度のPRを強化していく。
小さなふるさと産業活性化支援事業 【農林環境エネルギー課】	継続	【事業内容】 ・ 農林産物加工機械を導入する経費の一部助成 【事業実績】 ・ 実績：0件	・ 令和2年度は申請予定の団体が、新型コロナウイルス感染症の影響により経営状況が厳しくなったことから、申請を見送り実績は0件となった。 ・ 事業の要望はあることから、次年度以降も事業を引き続き進めていく。

重点施策	区分	令和 2 年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題 等
くずまき型農畜産物加工ブランド力強化支援事業 <small>【農林環境エネルギー課】</small>	継続	【事業内容】 ・加工施設及び機械設備を導入する経費の一部助成 【事業実績】 ・実績：0件	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は事業の要望が無かったため実績は0件となった。 ・各団体からの事業要望があり次第、事業を進めていく。
道の駅レストラン整備事業 <small>【農林環境エネルギー課】</small>	新規	【事業内容】 ・町内の農産物を活用した飲食施設を整備 【事業実績】 ・道の駅レストラン実施設計業務	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅レストラン建設に係る実施設計業務を行った。 ・建設工事については、令和3年度へ繰越して実施しており、オープンに向け引き続き業務を進めていく。
山ぶどう魅力発信事業 <small>【農林環境エネルギー課】</small>	新規	【事業内容】 ・山ぶどう振興とくずまきワインの更なるPRによる持続可能な産地確立に向けた支援 【事業実績】 ・葛巻町山ぶどう産地連携強化事業実行委員会補助金 補助金額：850,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会への補助を行い、令和2年10月30日に新酒を味わう会を開催した。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられることから、開催の可否を含め内容等を検討する必要がある。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
商店街の賑わいづくりと 商工業の発展	地元購買率の向上	実績値	46.9%	46.9%					50.0%	いらっしやい葛巻推進課調べ
		達成状況		○						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
中心市街地活性化支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・中心市街地活性化イベントを開催するなど、賑わい創出による商店街への誘客と地元購買率の向上 【事業実績】 ・助成総額：799,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、四季のイベント開催が出来なかった。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた賑わい創出事業を検討していく必要がある。 ・他のイベント等と相乗効果を図る取組みの検討が必要である。
商店等設備導入支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商店の設備導入及び店舗改装等の支援 【事業実績】 ・助成件数：15件、助成総額：6,730,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業者の自主性が必要な事業であるが、一定の利用があることから、補助金による直接的な助成のほか、商工業者の計画的な設備更新等の意識改良にも繋がっている。
くずまき型持続可能な産業づくり支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商工業者の技術取得や後継者育成、町内での起業等の支援 【事業実績】 ・助成件数：0件、助成総額：0円	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体総会時に情報提供として説明している。 ・令和元年度から引き続き実績は0件であるが、問合せは数件ある状況。
継業支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商工業の事業承継の支援 【事業実績】 ・助成件数：0件、助成総額：0円	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体総会時に情報提供として説明している。 ・制度創設から3年が経過するが、実績が無い状況であることから、事業内容の見直しが必要である。 ・町内豆腐店に関して問合せが数件あり、現地見学を1回対応した。(店舗兼住居という点が利用しにくとの意見あり)
空き店舗利活用事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・「空き店舗バンク」への登録支援 【事業実績】 ・「スーパーくずまき」オープン	<ul style="list-style-type: none"> ・「トヨタ地域貢献プロジェクト」事業の一環として、空き店舗を活用した「スーパーくずまき」がオープンした。 ・事業周知はしているものの、経営者・家族等が空き店舗バンクへの登録意識が低いことや、未登録の空き店舗は「店舗兼住居」が殆どで意欲的では無いため、関連制度を創設するなど、事業の見直しが必要である。
くずまき型DMO事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・まちなかエリアのリノベーションや起業家の掘り起こし及び起業の支援 【事業実績】 ・まちなか検討部会の開催 ・月30,000円ビジネス体験ワークショップ(参加者：42人)	<ul style="list-style-type: none"> ・主に女性の仕事づくりや起業による地域の賑わいづくりを目指して「月30,000円ビジネス体験ワークショップ」を開催した。 ・引き続き、起業候補者の掘り起こしと、まちなかエリアでの出店(活動)スペースのマッチング支援を行う。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
魅力ある雇用の創出	新規起業者	実績値	1件	0件					4件	いらっしやい葛巻推進課調べ
		達成状況		×						
	新規就業者 (農業・林業・商工業)	実績値	3人	5人					8人	農林環境エネルギー課調べ(農林業) いらっしやい葛巻推進課調べ(商工業)
		達成状況		○						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
雇用促進事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・町内事業者が従業員を新規雇用した場合に助成 【事業実績】 若者(40歳未満)雇用：11事業所(23人) 高年(60歳以上)雇用：2事業所(3人)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり前年度と比較して新規雇用件数が下回る状況となった。 雇用機会の確保に向けて、状況に応じたさらなる対策を検討しなければならない。
企業誘致活動 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・首都圏における企業立地セミナー開催や展示会への出展、企業訪問などによる新規企業誘致 【事業実績】 ・盛岡広域市町で企業立地オンラインセミナー開催 ・youtubeで動画配信	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大規模イベントや企業訪問が出来なかったため、代替企画を実施した。 大規模での誘致活動が困難なことから、在京盛岡広域産業人会等との連携を図るとともにネットワークを利用するなど、個別の企業誘致活動を検討していく必要がある。
特定地方公共団体無料職業紹介事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・(仮)くずまき雇用サポートセンターにおける、無料職業紹介事業、移住希望者や高校生の町内就職支援、地場産業の担い手確保支援 【事業実績】 ・登録事業所24社、求人登録6社、求職者10人、就職実績1件	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に「くずまき雇用サポートセンター」を新設し、ハローワークと同様の無料職業紹介事業を行える体制が整った。 今後は、事業内容を充実させ、町内における求人と求職のマッチングを強化していく。
くずまき型持続可能な産業づくり支援事業【再掲】 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・商工業者の技術取得や後継者育成、町内での起業等支援 【事業実績】 ・助成件数：0件、助成総額：0円	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体総会時に情報提供として説明している。 昨年度から引き続き実績が無い状況である。問合せは数件。
くずまき型DMO事業【再掲】 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・まちなかエリアのリノベーションや起業家の掘り起こし及び起業の支援 【事業実績】 ・まちなか検討部会の開催 ・月30,000円ビジネス体験ワークショップ(参加者：42人)	<ul style="list-style-type: none"> 主に女性の仕事づくりや起業による地域の賑わいづくりを目指して「月30,000円ビジネス体験ワークショップ」を開催した。引き続き、起業候補者の掘り起こしと、まちなかエリアでの出店(活動)スペースのマッチング支援を行う。

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	基準値	実績値					目標値	備考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
町の資源を活用した 観光交流の促進	観光客入込数	実績値	523,665人	184,801人					578,980人	いらっしゅい葛巻推進課調べ
		達成状況		×						

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
誘客・滞在促進事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・首都圏における町単独の催事開催及び出店、SNS等での情報発信、PR資料の作成 【事業実績】 ・いわて北緯40度物産会による催事1回 ・各種メディアによる情報発信多数 ・観光パンフレット・サイクリングマップの作成	・新型コロナウイルス感染症の影響により催事開催が難しい状況であるが、対策を講じた上での出店及び催事開催を継続し交流人口拡大を図っていく必要がある。 ・また、大規模な催事ではなくキャラバンや商談会等においてPR資料による情報発信や、観光客等のニーズを把握している旅行代理店等と連携し、旅行商品の造成等を実施するなど新たな展開が必要である。
くずまき型DMO事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・町の特色を活かした観光商品開発と地域の特産物によるお土産品開発を推進 ・若者・高校生による情報発信や起業家人材の育成を推進 【事業実績】 ・特産品検討部会・観光PR検討部会の開催 ・特産品開発、サイクルツーリズムフォーラム等の開催	・町の新たな特産品として「くずまきワインソルト」を商品化し、町内外で販売を開始した。 ・また、着地型観光商品として「サイクルツーリズム」を推進するため、サイクル関係イベントを実施するとともにレンタサイクル実証実験を展開した。
外国人観光客誘客促進事業 【いらっしゅい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・台湾を中心とした外国人観光客誘客拡大のため、県等と連携したプロモーションの展開 【事業実績】 ・実績無し	・新型コロナウイルス感染症の影響によりインバウンド誘客は難しい状況であるが、機会ある度にPR資料等の提供を実施している。 ・多言語表示等受入環境に関する情報整備を進める必要がある。

■ 効果検証の結果

有識者会議及び議会の結果

【基幹産業の新たな展開と発展】

- ・ 酪農については、新葛巻型酪農構想の実現に期待するとともに、後継者の確保が重要である。
- ・ 林業については、近年、伐採が多く見られるため、再造林が重要である。
- ・ 重点施策の「町産材利用促進事業」については、県の事業（木づかい住宅普及促進事業、木があふれる空間づくり事業）等とも連携した取り組みをお願いしたい。

【商店街の賑わいづくりと商工業の発展】

- ・ 商店街で買える物は限られており、商店街で買い物することが少ない。本屋やパン屋など、生活が潤うもの購入できることが重要である。
- ・ 「地元購買率」の向上については、事業の推進により、相当程度の成果が見られる。
- ・ 県においてR4年度新規で民間事業者が行う飲食店や商店街の利用を促進する事業に係る補助事業を創設予定（飲食店・商店街利用促進費補助）であるため、町事業とも連携した積極的な活用を検討をお願いしたい。

【魅力ある雇用の創出】

- ・ 「月3万円ビジネス」の実現を検討していきたい。

【町の資源を活用した観光交流の促進】

- ・ 観光客数が激減しているが、上外川の風車をPRするとともに、トイレや無人の売店等を整備しても良いのではないか。
- ・ 「蛇口をひねれば牛乳が出る」みたいな、町内に無料で牛乳が飲めるコーナーがあっても良いのではないか。
- ・ 「サイクルツーリズム」の推進があるが、来年度以降、盛岡広域振興局の事業として、管内市町と連携した取り組みを検討予定であるため、連携・協力をお願いしたい。
- ・ くずまき型DMO事業について、参加者がいつ同じで、特定の方々にしか情報が流れていないのではないか。また、活動内容や成果が公表されていないように見える。
- ・ 観光事業が町を潤すのではなく、町に暮らす人の生活が充実すること自体が末の循環を良くする。

葛巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）効果検証（令和2年度末）

＜進捗の目安＞	
◎ 順調	: 目標値以上
○ 概ね順調	: 基準値以上
× 努力が必要	: 基準値以下
-	実績なし

戦略4 “つながり” づくりプロジェクト

プロジェクトの方針	KPI (重要業績評価指標)	項目	実績値					目標値	備考
			基準値 H30	R2	R3	R4	R5	R5	
関係人口創出・拡大	関係人口	実績値	432人	613人				552人	いらっしやい葛巻推進課調べ (葛巻ふるさと会員、ふるさと納税者、インターンシップ参加者)
		達成状況		◎					
	新規移住相談件数	実績値	52件	48件				77件	いらっしやい葛巻推進課調べ
		達成状況		×					

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
移住コーディネート事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・専任の移住コーディネーターの配置等により、個別のコーディネート強化 【事業実績】 ・令和3年度中の配置に向け準備中	・現在は担当課の職員が「移住コーディネーター」として移住相談に応じている。 ・専任のコーディネーターを配置して、よりきめ細やかな移住・定住相談に応じられる体制を構築する。
Uターン者支援強化事業 【いらっしやい葛巻推進課】	新規	【事業内容】 ・Uターン希望者へのきめ細かな支援の充実 【事業実績】 ・移住者18世帯のうち、Uターン7世帯	・町出身者を関係人口として位置付けて、定期的に町の情報を積極的に発信するとともに、Uターンを希望される方々に対してはそれぞれのニーズに沿った効果的な支援を行う必要がある。
体験ツアー・体験居住支援事業 【いらっしやい葛巻推進課】	継続	【事業内容】 ・移住希望者向けにツアーの提供、また個人で移住相談等のため来町する場合の交通費、大勢費の支援 【事業実績】 ・くずまき暮らし体験オンラインイベント2回（参加者28人）	・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため体験ツアーは実施せず、オンラインでの交流イベントを実施した。 ・今後においても状況に応じて新たな手法でのPR事業を企画していく必要がある。

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
地域おこし協力隊制度活用事業 <small>【いらっしやい葛巻推進課】</small>	継続	【事業内容】 ・地域の活性化に取り組む地域おこし協力隊の人材確保を検討 【事業実績】 ・くずまき山村留学生寄宿舎ハウスマスター：2人 ・くずまき食のマイスター：1人	・地域振興において効果的な分野に協力隊を配置して振興施策を推進するとともに、協力隊任期終了後の町への定着に向けて十分な活動支援を講じる。
情報発信充実強化事業 <small>【いらっしやい葛巻推進課】</small>	拡充	【事業内容】 ・SNS、くずまきライフビジョン、メーリングリスト等を活用した各種情報発信、情報発信の一元化 【事業実績】 ・Facebook：記事投稿187回 閲覧数990件 ・メールマガジン：記事投稿17回 登録者150人	・現在展開しているSNS、くずまきライフビジョン、メーリングリスト等による情報発信について、より魅力的・効果的な情報発信に努め、町の関係人口の増加につなげる。
関係人口創出事業 <small>【いらっしやい葛巻推進課】</small>	新規	【事業内容】 ・町外滞在者を「(仮)くずまき応援団」として登録し、町へ多様な関わりとUIターンの促進 【事業実績】 ・ふるさと納税者（533人）、葛巻ふるさと会員（66人）、インターンシップ参加者（14人）の人数増加に向けたPRを展開	・町出身者や「葛巻ファン」といっていただける方々に町と継続的なつながりを持っていただけるよう「くずまき応援団(仮)」の設置に向けて体制整備を図る。
トヨタ地域貢献プロジェクト <small>【政策秘書課】</small>	継続	【事業内容】 ・トヨタグループと連携した地域課題の解決や地域活性化等に関する事業 【事業実績】 ・「災害時の避難所等における給電機能付車両等の支援に関する協定」を締結 ・「スーパーくずまき」オープン（買い物支援）	・包括連携協定を基に、地域課題の解決に向けた取組みが実施されている。 ・今後も定期的な情報交換を行うとともに、人口減少対策、交流人口拡大に向けた取組みを実施していく必要がある。
地域間交流・連携強化事業 <small>【政策秘書課】</small>	継続	【事業内容】 ・近隣市町村や全国の自治体等と連携した地域活力の創出や地域課題の解決等に関する事業 【事業実績】 ・みちのく盛岡広域首長懇談会 ・北岩手循環共生圏（連絡会議、再エネ部会）	・北岩手循環共生圏では、講演会を開催し、北岩手の魅力を発信した。 ・引き続き、近隣市町村等と連携しながら地域課題の解決に向けた事業を実施していく。

プロジェクトの方針	K P I (重要業績評価指標)	項 目	基準値	実 績 値					目標値	備 考
			H30	R2	R3	R4	R5	R5		
拠点施設機能充実	指標なし	実績値								
		達成状況								

重点施策	区分	令和2年度事業実績	達成状況の分析・問題点・課題等
交流拠点整備事業 【政策秘書課】	継続	【事業内容】 ・役場庁舎を中心とした町の新たな拠点づくり 【事業実績】 ・本体工事（第1期）について契約締結済（R2.12.24）	・早期完成に向け取組んで行くとともに、新たな働き方や住民サービスの向上に向け、什器・備品の調達はもちろんのこと、ソフト面の充実も検討していく。

■ 効果検証の結果

有識者会議及び議会の結果

【関係人口創出・拡大】

- ・ 「関係人口」について、町に関わる、関わってもらう方法を整理し、目的に対する対策を考える必要がある。
- ・ つながりとは、目に見えない部分もあり、数値で示せるものではないと感じる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでのPRやSNSでの発信がとても重要である。設備や機器等の整備が必要である。
- ・ 仕事もオンラインが増えてきている中で、とてもチャンスではないかと考えます。

【拠点施設機能充実】

- ・ 役場庁舎及び町道茶屋場・田子線の完成による、新たな拠点づくりに期待する。

【その他】

- ・ 数値目標の評価方法を検討するべきではないか。
- ・ 各年度の目標値を設定し、それとの比較検討を行った方が、各戦略の進捗状況の確認がしやすいのではないか。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の各種計画等の見直しも必要になってくるのではないか。